

浄化槽設置整備事業

今年度予定していた80基は、12月中旬に申請が完了しています。そのうち、新築家屋に係る申請は44件です。

不法投棄ごみの回収

不法投棄ごみの回収状況ですが、秋の一斉回収では137tの実績があり、夏に比べ17t増加しました。

税関係

税の徴収実績は、8月から催告書の発送、10月から税の村外徴収を実施しており、滞納繰越分における国民健康保険税の収納率が34.2%と上昇しました。また、広域農業開発事業負担金等も収納率が77.8%と上昇しました。

また、避難指示解除に向けて、新築家屋や増築家屋、リフォーム等が増加しており、1月31日現在で52世帯、63棟の家屋評価を実施しています。

村民の避難状況

3月1日現在、県内自治体に



昇口舗装の進捗状況

昇口舗装の進捗状況ですが、平成27年度までに184件が実施済みです。

今年度は計画件数200件のうち、完了が71件で、残り129件については、除染工事や、家屋解体工事と重なり、未完了となっています。

避難されている方は、福島市に3625人、伊達市に539人、川俣町に481人、相馬市に375人、南相馬市に389人等となっています。避難指示解除後も相当数の村民が村外に残ることが想定されますので、今後も今以上に一人ひとりの身の振り方に寄り添って、生活支援業務を充実していきます。

放射線に関する相談会

1月11日から、放射線に関する相談業務を開始しました。専門の相談員1名が、社会福祉協議会の生活相談員と共に避難先を訪問して村民の相談に答えています。

また、11月から1月まで「放射線車座集会」を「きこり」を会場に延べ9回実施しています。これは、公益財団法人原子力安全研究協会が開催したもので、約50人が参加し、放射線に関する疑問が寄せられました。

村内産野菜モニタリング検査

村内27か所で栽培した、ホウレンソウ、コマツナ、コカブ、ブロッコリー、キャベツの5品目について、

村営住宅関係

大谷地団地災害公営住宅は、現在2期工事8戸の工事を実施していますが、繰越工事となる見込みです。6月末の完了をめざし、7月から入居開始を計画しています。

飯樋地区に整備する桶地内住宅については、今月末までに基本設計が完了します。

また、既存の住宅修繕について、今年度は42戸の修繕工事を、3月末までに完了し、平成29年度から、入居を開始したいと考えています。昨年度整備分を合わせ、50戸の整備が完了となります。

家屋解体

追加受付分を含めた全体の申請件数は、1302件でした。うち、平成27年度までに95件が完了しています。今年度は、545件を予定しており、現在、完了464件、実施中81件という状況です。残りの662件については、平成29年度以降の工事となります。

て、県及び村のモニタリング検査を行った結果、全ての野菜で放射性物質は検出されませんでした。



営農再開状況

花卉、畜産、水稲農家等10件に対し、原子力被災12市町村農業者支援事業、いわゆる4分の3事業、及び、村単独での5%上乗せ補助により、農業用機械等の導入を図っています。

伊丹沢地区で9月から開始した繁殖肉用牛の飼養実証ですが、2月中旬に繁殖肉用牛の採血、

みらい議会

小学6年生が議員となり「飯館村みらい議会」を開催しました。子どもたちの村を思う気持ちに深く感銘を受けました。



子どもたちの絵本の完成

2月7日に、絵を通して子どもたちに支援をいただいている、柳田邦男先生・いせひでこ先生から絵本の寄贈がありました。この絵本は、小学5・6年生全児童が描いた絵をいせ先生が監修し、それぞれ学年ごとに1冊の本にまとめたものです。

生体の体内放射線量測定等を実施しています。

片付けごみの回収

国からは、全域で避難した自治体の廃棄物処理については、特例により、平成29年度も引き続き回収するとの説明がありました。

蔵平仮設焼却炉は、先行5行政区及び地元蔵平地区内に保管されているものから順に処理が進められています。

また、小宮仮設焼却炉は、3月をもって終了し、29年度に解体・撤去する予定です。

商工労政関係

東京電力の賠償による井戸掘削ですが、本年4月以降、58件の補助申請があり、現在まで、43件が完了しています。

次に、宿泊体験館「きこり」ですが、昨年3月にイオラ等の入浴施設の営業を再開していますが、本年1月末までの利用人数は4878人でした。

現在、食事の提供以外の「きこり」の全面再開に向けて、改修工事を行っており、再オープ

成人式

1月8日、交流センターふれ愛館で、震災後、村で初めての「成人式」を実施しました。式には、新成人70人中61人が出席し、晴れて大人の仲間入りを果たしました。

